

■学校にAEDを配置

【教育費】(継続) 46万円
(教育委員会事務局 学校教育課)

平成26年度までに、市内すべての小・中学校にAED(自動体外式除細動器)を計画的に配置します。

今年度は、小学校に4台と中学校に1台を配置する予定です。

市では総合計画に基づき、救命機器の設置を進めており、昨年度は6市民局および福祉事務所にAEDを配置しました。



配置を進めるAED

AED(自動体外式除細動器)

突然の心停止状態の時などに心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す医療機器のことです。平成16年7月から一般のかたにも使用が認められるようになりました。

3 社会教育・スポーツの充実

図書館が便利になります

■図書館システムの統合

【教育費】(新規) 2,699万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

市内図書館の図書管理システムが異なっていたため、利用者カードの統一などができませんでした。このため、市内図書館のシステムを統合してネットワーク化することにより、どこの図書館からでも図書の検索や予約ができるほか、図書の貸し出しや返却が可能になります。

今年度は、峰山図書館とあみの図書館のシステムを統合します。

(平成19年度～平成20年度)

●京丹後市の図書館

峰山図書館、あみの図書館、大宮図書室、弥栄図書室、丹後図書室、久美浜図書室



あみの図書館

京丹後のすぐれた人材を活かします

■高齢者人材活用講座の開設

【教育費】(新規) 30万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

高齢者のかたの優れた知識と技能を活かした地域活動を推進するとともに、高齢者のかたの生きがいを高めるため、人材活用講座を開設します。

優れた知識や技能を持った高齢者のかたを対象とし、指導者としての資質向上を目的とした研修会を開催します。指導者として登録されたかたを、各種団体や社会教育施設などに紹介します。



木工品づくりを指導

京丹後の春の風物詩

■プロ野球ウエスタンリーグ公式戦の開催

【教育費】(継続) 360万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

京丹後の春の風物詩となった「ウエスタンリーグ公式戦」を開催する実行委員会へ補助金を交付します。

迫力あるプロスポーツの醍醐味を、身近に味わうことのできるこの取り組みを支援し、市民のみなさんのスポーツ意欲の向上とスポーツ振興を図ります。



昨年度行われたプロ野球ウエスタンリーグ公式戦

4 歴史文化遺産の保全と活用

遺跡の保護・活用に取り組みます

■網野銚子山古墳の調査

【教育費】(新規) 156万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

網野銚子山古墳は、全長198mを誇る日本海側最大級の前方後円墳で、神明山古墳(丹後町)とともに京丹後市を代表する首長墓です。

昨年度策定した「京丹後市文化財マスタープ

ラン」の中でも、早期に整備が必要な最重要遺跡と位置づけています。

今年から3年間をかけて範囲確認調査を実施し、古墳の構造、範囲、施設などを調べます。



網野銚子山古墳

京丹後市の歴史や文化を身近に感じてください

■「京丹後史文化財博士」を育成

【教育費】(継続) 10万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

京丹後市には数多くの歴史文化遺産があります。

「京丹後史文化財博士」育成講座では、これらの歴史文化遺産に関する資料や報告書を実際に読んだり触れたりすることで、郷土の歴史を知り、歴史をつなぎあわせる楽しさを体感していただくことを目的としています。

これにより、私たちの住むまちへの愛着を育むことにつながればと考えています。



熱心に受講される市民のみなさん

市史の編さんに取り組みます

■市史の編さん

【教育費】(継続) 1,266万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

京丹後市史は、京丹後市の歴史と自然を写真や図版を使ってわかりやすく解説する本文編(全2冊)と京丹後市に関係する文化財などを紹介する資料編(全12冊)として、平成20年度から刊行をはじめていく予定です。

(平成17年度～平成26年度)



明治から昭和にかけての公文書の整理作業

V 共に築き、結び合う

パートナーシップ都市

1 地域コミュニティの強化

地域づくり、まちづくりを推進します

■地域振興交付金

【総務費】(継続) 1億2,263万円
(企画政策部 企画推進課)

住みよい地域社会の実現に向けて、各町の区長協議会などへ交付金を交付し、自治会活動の活性化を図ります。

交付金の額は、区長協議会を構成する区の均等割額(20,000円)と世帯割額(1世帯当たり5,400円×世帯数)の合計額です。

区長協議会に交付した交付金は、さらに区長協議会を構成する地区に配分され、広報紙の配布経費や地域環境の整備費、集会施設の維持管理費など、住みよい地域づくりのための経費に使われます。

●平成19年度の交付予定額

峰山町峰山地区区長会・峰山町峰山区長協議会	2,667万円
大宮町自治会連絡協議会	2,110万円
網野町区長連絡協議会	2,936万円
丹後町区長連絡協議会	1,405万円
弥栄町区長連絡協議会	1,049万円
久美浜町区長連絡協議会	2,096万円

2 協働と共創のまちづくりの推進

みなさんの潜在力、自発的な取り組みを支援します

■市民力活性化推進プロジェクト補助金の創設

【総務費】(新規) 1,500万円
(企画政策部 企画推進課)

これまでの「まちづくり推進活動支援補助金」を改変・拡充し、市民のみなさんの潜在力や市民活動の活性化・地域の活性化に貢献する活動を支援することで、地域が元気になることを期待し、より広い活動に対する補助金を創設します。



展開される市民活動